

重要文化的景観選定地リスト

2023年（令和5）9月28日官報時点において、日本国内には72件の重要文化的景観が選定されている。本リストは72件の重要文化的景観について、官報告示内容、『月刊文化財』各号にて記載された選定内容、各市町村がウェブサイト等で提示している内容、文化庁文化財第二課文化的景観部門・奈良文化財研究所景観研究室がウェブサイト等で紹介している内容、および京都府立大学文学部歴史学科歴史地理学ゼミの調査内容に基づいて、基本的な情報をリスト化したものである。

なお、京都府立大学文学部歴史学科歴史地理学ゼミの構成員・元構成員（上杉和央・歴代ゼミ生・共同研究員）が、以前に訪問・調査して得られた知見に基づいているものも含まれる。そのため、必ずしも重要文化的景観の現状が反映されていない可能性がある。この点、ご了承ください。

また、リストに添付した写真は、本ゼミ構成員・元構成員が撮影したものであり、撮影年の撮影者を記載した（撮影者名のないものは上杉和央の撮影による）。訪問時の撮影であるため、なかには撮影年次が古いものも含まれており、必ずしも最新の景観とはなっていない。また、構成員・元構成員が未訪問ないし未撮影の地域については、掲載していない。関係各所からお借りすることも検討したが、ゼミの活動記録として分かるように、という判断もあり、構成員・元構成員の撮影に限ることにした。

京都府立大学文学部歴史学科 歴史地理学ゼミ

付記：なお、2024年（令和6）10月11日の官報告示にて、新たに「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」が重要文化的景観に選定された。ただ、編集のタイミングの都合上、この「大谷の奇岩群と採石産業の文化的景観」については、今回リストに入れることができなかった。ご了承ください。

01 アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観

所在地：北海道沙流郡平取町 (アクセス) (道南バス 二風谷ほか下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成19年7月26日 平成28年3月1日(追加) 平成30年10月15日(追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○	○		○		○	○	○

特徴：

沙流川流域のアイヌの伝統的な信仰・生活を示す諸要素が数多く保存される一方、開拓期以降の農林業の土地利用が伝統的文化と輻輳する形で展開する地域として、多文化の重層する景観としての価値を持つ。

チセーコタンーイウォロという伝統的な空間単位を把握可能な地域として希少であり、その景観の保存活用が検討されている。



20221106 撮影

02 一関本寺の農村景観

所在地：岩手県一関市 (アクセス) (JR一ノ関駅より車で約30分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成18年7月28日 平成27年1月26日(追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○							○	○

特徴：


東日本で最初に選定された重要文化的景観。冬の季節風を防ぐイグネの発達した屋敷と田がセットになった田屋敷が点在する散居村集落で、現在の景観構成は中世の『陸奥国骨寺村絵図』から変わらない。

価値を活かした本寺地区らしい圃場整備やガイダンス施設の設置など、保存活用の面でも先例を作ってきた場所の1つ。



20080516 撮影

03 遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落 (旧名称：遠野 荒川高原牧場)										
所在地：岩手県遠野市 (アクセス) (土淵山口集落：JR 遠野駅より車で 25 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 20 年 3 月 28 日、平成 21 年 2 月 12 日 (追加)、平成 25 年 3 月 27 日 (追加 / 名称変更)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○						○	○
<p>特 徴：</p> <p>馬との生活・生業がテーマとなる文化的景観である。放牧地としての荒川高原牧場、馬の信仰を示す荒川駒形神社、『遠野物語』の説話の舞台となる土淵山口集落からなる。</p> <p>土淵山口集落では水車小屋の修理の際に地域で検討を重ね、「使える」水車へと復活させた。生活・生業を価値とする文化的景観の修理の方向性を示す事例の 1 つだろう。</p>										
										
										20180831 竹内祥一朗撮影

04 最上川の流通・往来及び左沢町場の景観										
所在地：山形県大江町 (アクセス) (JR 左沢線 左沢駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 25 年 3 月 27 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○		○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>中世末から近世にかけて最上川舟運のなかで、重要な拠点となった左沢を中心とした文化的景観。城下町以降の町場の変化を含めた重層性も評価されている。</p> <p>視点場の整備、重要構成要素の建築物の修理が着実におこなわれ、元銀行建物の活用なども実施されているなど、価値の磨き上げが地域づくりと結びついている。</p>										
										
										20231028 撮影

05 最上川上流域における長井の町場景観

所在地：山形県長井市 (アクセス) (山形鉄道フラワー長井線 長井下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成30年2月13日						○		○		○

特徴：

長井の町場景観は、置賜野川由来の「水」を利用した暮らしと、17世紀末以降に展開した最上川の「水」を利用した流通・往来の拠点という、2つの要素によって語ることができる文化的景観である。

旧長井小学校第一校舎の展示室では文化的景観にも関わる説明があり、また重要構成要素となる建物の公開も行われている。



20231029 撮影

06 利根川・渡良瀬川合流域の水場景観

所在地：群馬県板倉町 (アクセス) (東武日光線 板倉東洋大前下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成23年9月21日		○							○	○


特徴：

利根川と渡良瀬川の合流する低湿地域において営まれてきた水との暮らしがうかがえる6つの水場からなる。治水・灌漑整備により穀倉地帯となっているほか、水場の生態系が豊かに残る点が評価された。

治水や灌漑の歴史的な要素、自然の要素とともに、排水機場など現在の施設も重要な要素となる。



20170322 竹内祥一朗撮影

07 葛飾柴又の文化的景観										
所在地：東京都葛飾区 (アクセス) (京成金町線 柴又駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 30 年 2 月 13 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○		○		○
<p>特 徴：</p> <p>帝釈天題経寺を中心に都市的空間と農村的空間がリング状に展開する。河川交通と陸上交通（街道・鉄道）の結節点で、参詣客（地域外住民）と地域住民が常に交流する空間でもある。</p> <p>開発圧が強い地域である故、文化的景観の価値を基盤に据え、方向性を共有することが地域づくりにとって重要であることが確認できる選定地の1つ。</p>										
						 <p style="text-align: right; font-size: small;">20190106 撮影</p>				

08 佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観										
所在地：新潟県佐渡市 (アクセス) (佐渡空港より車で 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 23 年 9 月 21 日 令和 5 年 9 月 28 日 (追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○				○	○		○	○
<p>特 徴：</p> <p>現時点で、採掘・製造系の重要文化的景観はいずれも「閉山後」の土地利用に注目している。西三川の文化的景観は、砂金採掘によって生まれた地形や技術を閉山後にうまく利用しながら農山村に転換したものである。</p> <p>令和 5 年には、西三川川上流域の導水路跡およびその周辺が追加選定となった。</p>										

09 佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観

所在地：新潟県佐渡市 (アクセス) (佐渡空港より車で 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 27 年 10 月 7 日							○	○	○	○

特 徴：

近世初頭に発見された金鉱脈の開発、および廻船業などの流通・往来の展開を基盤として生まれた文化的景観である。

集落は尾根上に設定された幹線道路を中心に広がる上町と、埋め立ても伴って形成された海岸沿いの下町からなり、いずれも近世に由来する地割を継承した景観となっている。

10 金沢の文化的景観 城下町の伝統と文化

所在地：石川県金沢市 (アクセス) (金沢ふらっとバス等利用)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 22 年 2 月 22 日						○		○	○	○


特 徴：

街並みや景観といったハード面、そして生活様式や技術といったソフト面のいたるところに藩政期より培われてきた「金沢らしさ」が宿る文化的景観。

平成 24 年 3 月策定の整備計画 (第 1 期) は、文化を尊重する金沢市の政策、および文化的景観の価値をふまえ、景観の変化に対する立場を明確にする姿勢をとる。整備計画の方向として参照すべき点が多い。



20130221 撮影


11 大沢・上大沢の間垣集落景観										
所在地：石川県輪島市 (アクセス) (JR 金沢駅より車で約 2 時間 30 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 27 年 10 月 7 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○							○	○
<p>特 徴：</p> <p>能登半島北西部の日本海に面する地域では、「間垣」と呼ばれる自然資源を活かした屋敷囲いが発達し、防風、日よけ、農作物の乾燥場などに利用されてきた。大沢・上大沢は、早い段階で特徴的な集落景観が紹介されたことで維持が図れた経緯がある。</p> <p>令和 6 年 1 月の地震で、海岸の隆起など、一帯が甚大な被害を受けた。一刻も早い復興が望まれる。</p>										
 <p style="text-align: right;">20160504 宮下通撮影</p>										

12 加賀海岸地域の海岸砂防林及び集落の文化的景観										
所在地：石川県加賀市 (アクセス) (JR 北陸本線 大聖寺駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和 3 年 3 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
				○						
<p>特 徴：</p> <p>海岸沿いに発達した砂丘およびそれに伴う特徴的な自然地形のなかで形成された景観地である。飛砂を防ぐ目的で、海岸砂丘への造林とその管理がその都度なされてきた結果、集落の位置を含めた土地利用のゾーニングが定まることになり、現在の景観が形成、維持されるに至った。</p> <p>選定が新しく、今後の保存活用に向けた取り組みが期待される。</p>										


13 越前海岸の水仙畑 下岬の文化的景観										
所在地：福井県福井市 (アクセス) (JR 福井駅より車で約 50 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和 3 年 3 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
特 徴： 急崖の連なる越前海岸の斜面地は、ニホンズイセン（水仙）の自生地である。また、正月花として水仙が栽培されてきた。 本文化財は、越前海岸のうち福井市下岬地区にあたり、昭和初期に組合を設けて水仙栽培に取り組み、農地の転用などがなされた地域として知られる。										


14 越前海岸の水仙畑 上岬の文化的景観										
所在地：福井県越前町 (アクセス) (JR 福井駅より車で約 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和 3 年 3 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
特 徴： 急崖の連なる越前海岸の斜面地は、ニホンズイセン（水仙）の自生地である。また、正月花として水仙が栽培されてきた。 本文化財は、越前海岸のうち越前町上岬地区にあたり、海食崖上の段丘や緩斜面に棚田跡を利用した水仙畑が広がる地域として知られ、地域の自然、歴史、生活・生業によって紡がれた景観地となっている。										


15 越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観										
所在地：福井県南越前町 (アクセス) (JR 福井駅より車で約 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和 3 年 3 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○								
<p>特 徴：</p> <p>急崖の連なる越前海岸の斜面地は、ニホンズイセン（水仙）の自生地である。また、正月花として水仙が栽培されてきた。</p> <p>本文化財は、越前海岸のうち南越前町糠地区にあたり、国道沿いに水仙畑が広がる。この景観は、林産物や養蚕、杜氏の出稼ぎ等、当地域の副業の盛衰の歴史の一端を表すものとなっている。</p>										

16 姨捨の棚田										
所在地：長野県千曲市 (アクセス) (JR 篠ノ井線姨捨駅より徒歩 5 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 22 年 2 月 22 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○								
<p>特 徴：</p> <p>水源となる大池から更級川への水系を軸とし、「田越し」による灌水、「ガニセ」による排水など、各田への灌漑が工夫された棚田景観。</p> <p>月の名所や姨捨伝説などもあり、国の名勝にも指定され、また日本遺産「月の都千曲」の構成要素にもなっている。多様な手法による保存活用プログラムが展開する。</p>										
										 <p>20160809 竹内祥一朗撮影</p>

17 小菅の里及び小菅山の文化的景観										
所在地：長野県飯山市 (アクセス) (JR 飯山駅より車で約 20 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 21 年 1 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
				○		○			○	○
<p>特 徴：</p> <p>中世から広く信仰を集めた小菅神社奥社は、参道が整備され坊院群が形成されたが、その区画は現在の居住地・農耕地に継承される。居住地内の「カワ」は融雪池や田畑の灌漑用水に利用される。</p> <p>住民の共同作業「オテンマ」が集落の紐帯として、また林業、伝統行事の維持に不可欠な要素として位置づけられている。</p>										

18 長良川中流域における岐阜の文化的景観										
所在地：岐阜県岐阜市 (アクセス) (岐阜バス 岐阜公園歴史博物館前 ほか下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 26 年 3 月 18 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
				○	○			○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>長良川河畔・金華山麓に展開する岐阜は、城下町の都市構造が基本的に維持されると同時に、川とともに生きる都市として、伝統的な暮らしが息づいている。長良川鵜飼(重要民俗文化財)の鵜匠が居住する鵜飼屋地区や、材木等の流通で栄えた町など、特色ある町が残されている。近年は、建造物の再利用による活用もみられる。</p>										
										 <p>20180730 撮影</p>

19 近江八幡の水郷										
所在地：滋賀県近江八幡市 (アクセス) (JR 近江八幡駅より車で約 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 18 年 1 月 26 日、同 7 月 28 日(追加)、平成 19 年 7 月 26 日(追加)、令和 3 年 10 月 11 日(追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○		○		○			○	○
<p>特 徴：</p> <p>重要文化的景観選定第 1 号となった場所であり、これまでに 3 度、追加選定がなされてきた。</p> <p>西の湖や周辺にみられるヨシ原のヨシを利用した簾・葦簣などの製造が営まれてきた。また、ヨシの管理がヨシ原を保つことに繋がり、生態系の維持に役立っている。</p>										
										 <p style="text-align: center;">20121214 撮影</p>

20 高島市海津・西浜・知内の水辺景観										
所在地：滋賀県高島市 (アクセス) (JR マキノ駅より徒歩約 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 20 年 3 月 28 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○		○		○
<p>特 徴：</p> <p>高島市には重要文化的景観が 3 件ある。そのうち最も北に位置するのが本件である。この地域では、季節風の影響で風や波が打ち付けるため、家屋には風除けが設けられているとともに、琵琶湖岸には 1.2km に渡って石垣が積まれている。そこに、ヤナ漁などの漁業風景と街道風景が彩りを添えている。</p>										
										 <p style="text-align: center;">20110709 撮影</p>

21 高島市針江・霜降の水辺景観

所在地：滋賀県高島市 (アクセス) (JR 新旭駅より徒歩約 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 22 年 8 月 5 日						○			○	○

特 徴：

高島市には重要文化的景観が 3 件ある。そのうち安曇川下流左岸に位置するのが本件である。この地域では、安曇川伏流水の湧水を利用する生活・生業システムが発達した。その象徴がカバタである。

地元協議会などにより、生活をベースとした文化的景観の保存活用が取り組まれている事例として著名。



20160409 竹内祥一朗撮影

22 東草野の山村景観

所在地：滋賀県米原市 (アクセス) (JR 米原駅より車で約 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 26 年 3 月 18 日						○		○	○	○


特 徴：


姉川最上流部に位置する 4 つの集落（東草野）は、山を越えた往来によって文化が営まれてきた。また、西日本屈指の豪雪地帯であり、雪との共生が生活・生業に表れている。

地域の住民によって組織された東草野まちづくり懇話会の活動が、地域づくりの 1 つの核として機能している。



20211031 撮影

23 菅浦の湖岸集落景観										
所在地：滋賀県長浜市 (アクセス) (JR 永原駅より車で約 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 26 年 10 月 6 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○		○				○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>著名な史料『菅浦文書』などにより、14 世紀半ばには「惣」が形成されていたことが知られる集落であり、集落の東西の境界に残る四足門がその歴史を物語る。また、狭小な平地におけるハマの利用も特徴的である。</p> <p>四足門の屋根の葺き替えなど、整備が進められている。</p>										
										
										20200909 竹内祥一朗撮影

24 大溝の水辺景観										
所在地：滋賀県高島市 (アクセス) (JR 近江高島駅すぐ)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 27 年 1 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○		○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>高島市の重要文化的景観のうち、南部の琵琶湖沿いに位置する。大溝城の城下町域を含み、東寺の町割りが残される。また、町人地での特徴的な水道整備が残され、地域ならではの水利用がうかがえる。</p> <p>重要文化的景観選定を機に作られたまちづくり協議会により、ガイド活動などがなされている。</p>										
										
										20160409 竹内祥一朗撮影

25 伊庭内湖の農村景観

所在地：滋賀県東近江市 (アクセス) (JR 能登川駅より車で約 10 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 30 年 10 月 15 日						○			○	○

特 徴：

伊庭は湖東の伊庭内湖岸に発達した大規模な農村集落である。伊庭川、集落、内湖が集落内に張り巡らされた水路で接続されており、交通路として利用されたほか、カワトなどを使った暮らしが営まれてきた。

湖辺の郷伊庭景観保存会により、ガイド活動のほか、水路景観を守る取り組みがなされている。



20211123 撮影

26 宇治の文化的景観

所在地：京都府宇治市 (アクセス) (JR 宇治駅付近ほか)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日		○				○	○	○	○	○


特 徴：


時代ごとの都市の営みが景観に刻まれている典型例となっている。常に変化していくことが特徴という以上、一定の方向性をもって変わり続けることが宇治らしさの継承となる。

重要な構成要素の積極的な修理を実施することで、周辺の建物整備の動きや活性化に一定の効果を与えている。



20201031 撮影

27 宮津天橋立の文化的景観										
所在地：京都府宮津市 (アクセス) (京都丹後鉄道天橋立駅すぐ)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
農耕		採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住		
選定年月日：平成26年3月18日 平成27年1月26日(追加/ 市境変更に伴う一部解除)					○			○	○	○
<p>特徴：</p> <p>天橋立の景観美は、丹後地域の中心地としての特徴をこの地域に付与した。早くから人びとが訪れる地として、観光業が発達した場所でもあり、また内海を利用した漁業もおこなわれてきた。この地域の生活と生業のそばに天橋立は常にある。</p> <p>地域の団体による地域づくりの取り組みが盛んにおこなわれている。</p>										
					 <p style="text-align: right;">20190920 撮影</p>					

28 京都岡崎の文化的景観										
所在地：京都府京都市 (アクセス) (京都市営地下鉄東山駅付近ほか)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
農耕		採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住		
選定年月日：平成27年10月7日						○		○	○	○
<p>特徴：</p> <p>京都の郊外地に位置する岡崎は、自然環境をベースとしつつ、都市域と農村域とを何度も繰り返してきた地区としてほかにはない特徴を持つ。現在の景観は、3回目の都市景観であり、そこには琵琶湖疏水といった新たな「自然 - 人工」要素も加わっている。</p> <p>京都岡崎魅力づくり推進協議会によるまちづくり活動が実施されている。</p>										
					 <p style="text-align: right;">20190920 撮影</p>					

29 日根荘大木の農村景観

所在地：大阪府泉佐野市 (アクセス) (JR 日根野駅より南海ウイングバス 21 系統にて下大木ほか下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 25 年 10 月 27 日		○							○	○

特 徴：

中世の日根野荘の故地で、荘園時代に作られた用水体系（ため池、水路、農地）が維持されているほか、寺社などの主要な景観構成要素も、中世に由来することが史料から跡付けられる。

荘園遺跡は国史跡に指定されており、史跡と文化的景観とによって保存活用が図られる。また、日本遺産にもなっている。



20240113 撮影

30 生野鉱山及び鉱山町の文化的景観

所在地：兵庫県朝来市 (アクセス) (JR 生野駅すぐ)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 26 年 3 月 18 日							○	○	○	○


特 徴：

16 世紀の銀採掘に始まり、日本の主要鉱山として発展してきた。銀山は昭和期に閉山するも、現在でもレアメタルなどの採掘があり、鉱山町としての歴史が続いている。

保存活用の内容を紹介したパンフレットを作成し (H29)、地域の価値を「まずは 10 年、引き継いでいきましょう」と呼びかける。



20140801 撮影

31 奥飛鳥の文化的景観										
所在地：奈良県明日香村 (アクセス) (近鉄飛鳥駅より車で約10分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成23年9月21日		○				○			○	○
<p>特 徴：</p> <p>飛鳥川上流部に営まれた棚田と小集落よりなる景観。集落内には石積みによる平場造成がみられ、地域に特徴的な大和棟の民家が点在している。</p> <p>飛鳥川流域に広がる棚田には、開削が15世紀に遡るとされる長距離の用水路が引かれ、現在も地域で管理がなされている。</p>										
										
20230618 竹内祥一朗撮影										

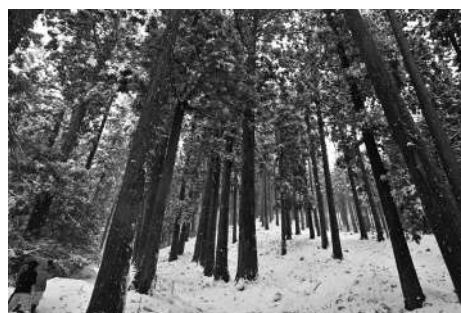
32 蘭島及び三田・清水の農山村景観										
所在地：和歌山県有田川町 (アクセス) (JR藤並駅より車で約45分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成25年10月17日		○							○	○
<p>特 徴：</p> <p>有田川の穿入蛇行によって生み出された特徴的な河岸段丘に作られた棚田が印象的な景観。17世紀の大庄屋笠松左太夫による開発が大きく、棚田には上流から用水路が引かれる。笠松は地域に和紙生産も導入した。</p> <p>蘭島近くの古民家をリノベーションし、一棟貸の宿泊施設とするなど、活用を通じた地域理解が進められている。</p>										
										
20200828 竹内祥一朗撮影										

33 智頭の林業景観

所在地：鳥取県智頭町 (アクセス) (JR 智頭駅付近ほか)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成30年2月13日				○						

特徴：

智頭の林業は近世から続くが、天然スギを利用した「赤挿し苗」の育苗技術が確立された明治中期以降、人工造林が盛んに行われてきた。中心となった芦津集落の周辺は管理された森林景観がみえる。また、林業を中心として森林・山村集落・宿場町が結ばれており、智頭らしい歴史的景観が生まれている。



20201217 竹内祥一朗撮影

34 奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観

所在地：島根県奥出雲町 (アクセス) (JR 出雲横田駅より奥出雲交通バス「蔵屋上集会所」下車ほか)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成26年3月18日		○		○		○	○		○	○


特徴：

智頭の林業は近世から続くが、天然スギを利用した「赤挿し苗」の育苗技術が確立された明治中期以降、人工造林が盛んに行われてきた。中心となった芦津集落の周辺は管理された森林景観がみえる。また、林業を中心として森林・山村集落・宿場町が結ばれており、智頭らしい歴史的景観が生まれている。



20201229 撮影

35 錦川下流域における錦帯橋と岩国城下町の文化的景観										
所在地：山口県岩国市 (アクセス) (JR 新岩国駅より車で 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和 3 年 10 月 11 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
								○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>錦川下流域並びに岩国城下町の暮らしのなかで錦川や錦帯橋は大きな位置を占める。錦川への架橋の果たした意味と、結果として生み出された名所がもたらした効果が、今なお岩国の暮らしのなかにみられる。</p> <p>比較的新しい選定で、今後、都市の文化的景観として、地域づくりの方向性の全庁的な共有が鍵となる。</p>										
										
										20140801 撮影

36 榎原の棚田及び農村景観										
所在地：徳島県上勝町 (アクセス) (JR 徳島駅より車で約 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 22 年 2 月 22 日 平成 25 年 10 月 17 日 (追加 / 名称変更)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○							○	○
<p>特 徴：</p> <p>勝浦川上流部の山村地域で、当初は「榎原の棚田」として選定されていたが、追加選定時に名称を変更した。</p> <p>文化 10 年 (1813) に作製された分間絵図に表現された水田・家屋・道などの多くが現在まで踏襲されている。土地利用形態が 200 年以上変化していないことがわかる事例地である。</p>										
										
										20190614 撮影

37 遊子水荷浦の段畑

所在地：愛媛県宇和島市 (アクセス) (JR 宇和島駅より車で約 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 19 年 7 月 26 日		○								

特 徴：

宇和海に伸びる細長い半島に形成された石積みの段畑にて、現在はジャガイモが生産されている。既選定地の中で選定範囲は最小となっている。

「段畑を守ろう会」が中心となって段畑の保存と活用が図られており、交流施設の運営やじゃがいもを利用した特産品の開発などがなされている。



20220604 撮影

38 奥内の棚田及び農山村景観

所在地：愛媛県北宇和郡松野町 (アクセス) (JR 宇和島駅より車で約 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 29 年 2 月 9 日		○								


特 徴：

四万十川水系のうち、愛媛県側にある源流部の 3 つの谷筋に 5 つの集落が 1 つの地区をなす。奥内では、自然環境に応じた棚田を作り、場面に応じてまとまりの単位を変えながら生活を営んできた。

地区住民による「奥内の里保存会」が活動を始めており、地区の魅力を活かした整備が進められつつある。



20220605 撮影

39 宇和海狩浜の段畑と農漁村景観										
所在地：愛媛県西予市 (アクセス) (JR 卯之町駅より車で約 30 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 31 年 2 月 26 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○			○					○
<p>特 徴：</p> <p>リアス海岸の湾奥の狭小な平地に形成された集落は、自然環境と社会背景に応じながら、その時々で「やま・さと・うみ」をうまく利用する生活・生業を営んできた。</p> <p>もともと地域づくりへの意識が高い地域である。文化的景観の価値を溶け込ませ、未来の狩浜像を共有していくことで、狩浜らしさがより輝くと思われる。</p>										
										 <p>20141222 撮影</p>

40 四万十川流域の文化的景観 源流域の山村										
所在地：高知県津野町 (アクセス) (JR 須崎駅より車で約 25 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日 平成 24 年 1 月 24 日 (追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○		○		○			○	○
<p>特 徴：</p> <p>四万十川流域に選定された重要文化的景観のうち、源流域に位置するもの。</p> <p>津野町域は、ほぼ山地が占める地勢である。傾斜地に石垣などを築きながら宅地や農地が巧みに形成されており、四万十川流域のなかでも独特の景観地となっている。沈下橋や一本橋といった渡河方法にも、地域の自然との付き合い方がみえる。</p>										

41 四万十川流域の文化的景観 上流域の山村と棚田

所在地：高知県梶原町 (アクセス) (JR 須崎駅より車で約 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日		○		○		○				○

特 徴：

四万十川流域に選定された重要文化的景観のうち、最大支流である梶原川の源流域に位置するもの。

梶原町域は、ほぼ山地が占める地勢であり、石垣による棚田が形成され、水守による水利システムが発達した。近代には国有林を利用した林業が展開したが、その際も、一部は保護林として残された。

42 四万十川流域の文化的景観 上流域の農山村と流通・往来

所在地：高知県中土佐町 (アクセス) (JR 須崎駅から車で約 30 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日 平成 23 年 2 月 7 日 (追加)		○		○		○		○	○	○


特 徴：


四万十川流域に選定された重要文化的景観のうち、本流の上流域に位置するもの。

中土佐町大野見地区では、四万十川に堰を設けて灌漑路を通すことで開拓された農地がみられる。


一方、山間部の多くは国有林で、近代林業が展開した。木材は水運や陸運を通じて、久礼や須崎に運ばれた。


43 四万十川流域の文化的景観 中流域の農山村と流通・往来										
所在地：高知県四万十町 (アクセス) (JR 須崎駅から車で約 45 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日 平成 23 年 9 月 21 日 (追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○		○		○		○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>四万十川流域に選定された重要文化的景観のうち、中流域に位置するもの。</p> <p>四万十町域は、近代林業によって特徴づけられる大正奥四万十区域、蛇行する四万十川での流通機能を担った四万十川中流区域、穀倉地帯としての高南台地区の 3 つに大きく区分でき、それぞれ特徴的な景観がみられる。</p>										

44 四万十川流域の文化的景観 下流域の生業と流通・往来										
所在地：高知県四万十市 (アクセス) (JR 中村駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 21 年 2 月 12 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
				○	○	○		○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>四万十川流域に選定された重要文化的景観のうち、下流域に位置するもの。</p> <p>支流の黒尊川区域では林業が、広い川幅を持つ下流区域では漁業や生活とのかかわりが、河口区域では汽水域を利用した漁業やのり生産がみられる。また河口には四万十川流域の産物の積み出し港が発達した。</p>										
<div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">20170613 島本多敬撮影</p>										

45 久礼の港と漁師町の景観										
所在地：高知県四万十町 (アクセス) (JR 土佐久礼駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成23年2月7日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
					○	○				○
特 徴： 久礼川の河口は湾入した地形となっている。中世から近世にかけて、久礼港は海運の拠点として機能していたことが知られる。一方、湾入部分の堤防整備によって、海に近い部分に港機能が整備されるに従い、鰹漁を中心とした海洋漁業がより盛んとなり、漁師町としての繁栄したことで、独特の景観が形成されるに至った。										
										
20220826 竹内祥一朗撮影										


46 求菩提の農村景観										
所在地：福岡県豊前市 (アクセス) (JR 宇島駅よりバスで40分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成24年9月19日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○							○	○
特 徴： 豊前修験道の中心的な山岳霊場である求菩提山(国史跡)の山麓の狭隘な谷底に位置する。斜面地を利用した石積みによる棚田が発達する農村景観だが、そこでの生活は求菩提山に籠る修験者との密接な関わりのなかで営まれてきたことが知られ、独特の「祈りの景観」が歴史的に形成されてきたことが評価されている。										

47 蕨野の棚田										
所在地：佐賀県唐津市 (アクセス) (JR 相知駅よりバスで 15 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 20 年 7 月 28 日		○								
<p>特 徴：</p> <p>唐津市相知町に位置する。北向きの急斜面地約 36ha に石積みの棚田が形成されている。他所の棚田と比べ、石積みが高井のが特徴であり、平均で 3～5m、最高は 8.5m である。石積みは野面積みを基本とし、石積棟梁と村人による手間講で造られてきた。固有の技術と集落の共同作業によって形づくられた棚田景観である。</p>										
										
					20170513 竹内祥一朗撮影					

48 平戸島の文化的景観										
所在地：長崎県平戸市 (アクセス) (JR 佐世保駅より車で約 80 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 22 年 2 月 22 日 平成 22 年 8 月 5 日 (追加)		○				○			○	○
<p>特 徴：</p> <p>棚田の斜面地利用がなされる景観には、キリシタン信仰の歴史やそれにもとづく生活が埋め込まれる。価値として重要な信仰の面は不可視であることに意義がある。</p> <p>平成 30 年にオープンした春日集落拠点施設「かたりな」では、住民の方が語り部として常駐し、訪問者と語らう中で価値を伝える。文化的景観にふさわしい保存活用の好例となっている。</p>										
										
					20200307 撮影					

49 小値賀諸島の文化的景観										
所在地：長崎県小値賀町 (アクセス) (佐世保よりフェリーで約 160 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 23 年 2 月 7 日 平成 23 年 9 月 21 日 (追加)			○		○			○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>多様な地形的特徴を示す島嶼間、もしくは近隣諸国との流通・往来によって展開した集落景観に加え、諸島の薪炭林・海藻採草地で、信仰地もあった野崎島を加える。</p> <p>野崎島には世界遺産の構成資産となっている野首教会もある。ただ、島は現在、無人であり、とりわけ文化的景観の価値の維持については、困難な状況も生じているのではないだろうか。</p>										

50 佐世保市黒島の文化的景観										
所在地：長崎県佐世保市黒島町 (アクセス) (佐世保よりフェリーで約 50 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 23 年 9 月 21 日		○							○	○
<p>特 徴：</p> <p>黒島は九十九島の 1 つで、近世期の牧に起源を持つ畑地がみられる。</p> <p>黒島は夏・冬ともに季節風の影響が大きく、自然圧を下げるための防風林が発達する。自然林の活用のほか、島で産出する閃緑岩の石垣の上に亜熱帯性のアコウの大樹の根が張る、特徴的な景観がみられる。</p>										

51 五島列島における瀬戸を介した久賀島及び奈留島の集落景観 (旧名称：五島市久賀島の文化的景観)										
所在地：長崎県五島市 (アクセス) (福江港より定期船)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成23年9月21日 令和4年3月15日(追加及び名称変更)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
				○					○	○
<p>特 徴：</p> <p>両島とも、古くから寄港地として知られる。江戸時代には五島藩による開拓がおこなわれ、また禁教令の弾圧から逃れるべく移住してきた人びともいた。島の湾の内外によって環境が異なり、特徴的な集落が形成されている。</p> <p>令和4年に奈留島についても追加選定され、名称が変更となった。</p>										
										
20221128 撮影										

52 新上五島町北魚目の文化的景観										
所在地：長崎県新上五島町 (アクセス) (佐世保より高速船で約1.5時間)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成24年1月24日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○			○				○	○
<p>特 徴：</p> <p>中通島の北端の急峻で細長い半島が北魚目地区で、山が連なる地形条件に応じて、農村と漁村という対照的な形態を成す集落景観が形成された。</p> <p>この地の特徴的な生業は、豊かな漁場を基礎とした漁業と、移住者によってはじめられた傾斜地の甘藷栽培が挙げられる。生業に応じて海沿いと斜面地に集落が形成されている点も歴史を反映したものである。</p>										

53 長崎市外海の石積集落景観

所在地：長崎県長崎市 (アクセス)(長崎駅よりバスで約70分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成24年9月19日 平成30年2月13日(追加)		○							○	○

特徴：

出津・牧野地区には、地域で産出する結晶片岩を用いた石積みの構造物が景観の構成要素として大きな役割を果たす。石積みには赤土にわらすさを混ぜる「ネリベイ」と、石灰を混ぜる「ド・ロ壁」とがあり、ド・ロ神父の果たした役割も大きい。

赤首・大野地区には、玄武岩の石積み構造物が見られ、自然環境を活かした営みの痕跡がみられる。



20140519 撮影


54 新上五島町崎浦の五島石集落景観


所在地：長崎県新上五島町 (アクセス)(佐世保より船で3時間30分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成24年9月19日							○		○	○


特徴：

崎浦地区の海岸付近には砂岩質の堆積岩が露頭している。数多くの採石場跡が確認され、五島石を採石・加工する石材業が発展した。崎浦地区では、五島石を使った独特の集落景観が形成されている。

五島石は島外にも流通しており、幕末から近代にかけて、西九州一帯に広まったことが確認されている。

55 通潤用水と白糸台地の棚田景観										
所在地：熊本県山都町 (アクセス) (JR熊本駅より車で60分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成20年7月28日 平成21年7月23日(追加) 平成22年2月22日(追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○				○		○		○
<p>特 徴：</p> <p>江戸時代後期に、白糸台地の水田開発を進めるに通潤用水が整備された。用水は支線を含めると40kmにも及ぶ。</p> <p>通潤用水、そして用水によって灌漑された台地上の棚田状の水田とともに、こうした自然と人間の手によって作られた環境の中ではぐくまれた独特の生態系も、文化的景観に重要な要素となる。</p>										
										 <p>201810227 撮影</p>

56 天草市崎津・今富の文化的景観 (旧名称：天草市崎津の漁村景観)										
所在地：熊本県天草市 (アクセス) (天草空港より車で60分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成23年2月7日 平成24年9月19日(追加/名称変更)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○			○			○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>天然の良港で、中世以来の流通拠点ともなってきた漁村集落の崎津と、入り江最奥の迫地形に集落を形成する農山村集落の今富からなる。</p> <p>当初は崎津のみが選定範囲であったが、信仰といった目に見えない要素も含む、両地の生活上の補完的な関係をふまえて選定範囲が拡大された。</p>										
										 <p>20211226 撮影</p>

57 三角浦の文化的景観										
所在地：熊本県宇城市 (アクセス) (JR三角駅よりバスで15分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成27年1月26日						○		○	○	○
<p>特 徴：</p> <p>三角浦は、船舶の往来が盛んな瀬戸に位置している。深い水深を有することから天然の良港とされてきたが、特に明治年間に大型船舶の停泊可能な港として築港されて以降、三池炭鉱から石炭輸出をおこなう際の経由港としてにぎわいを見せた。</p> <p>現在、港湾としての利用は終了しているが、往時の姿をよくとどめている。</p>										
										
					20211227 撮影					

58 阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山及び中央火口丘群の草原景観 (旧名称：阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山中央部の草原景観、阿蘇の文化的景観 阿蘇北外輪山の草原景観)										
所在地：熊本県阿蘇市 (アクセス) (JR熊本駅より車で90分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成29年10月13日、令和3年3月26日(追加/名称変更)、令和5年3月20日(追加/名称変更)			○							
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>阿蘇市は阿蘇カルデラ北部に位置し、阿蘇谷の平地及び中央火口丘北斜面、北外輪山及びその斜面が含まれる。平地は居住地及び耕作地、斜面は林地、中央火口丘・外輪山上は草地として利用されるなかで形成された景観地が広がる。</p>										

59 阿蘇の文化的景観 南小国町西部の草原及び森林景観										
所在地：熊本県南小国町 (アクセス) (JR 熊本駅より車で 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 29 年 10 月 13 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○	○						○
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>筑後川源流域にあたる南小国町域は、北外輪山から流れ出た中小河川が北流している。谷底は居住地と耕作地が、斜面上は森林、尾根筋高台は草原が広がっており、小国杉を利用した林業景観と草原景観とが、地域の景観を特徴づけている。</p>										

60 阿蘇の文化的景観 涌蓋山麓の草原景観										
所在地：熊本県小国町 (アクセス) (JR 熊本駅より車で 90 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 29 年 10 月 13 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○							
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>北外輪山北側斜面に位置する小国町域では、東部の涌蓋山周辺を中心に草原景観が広がっている。</p> <p>周辺には、小国杉を中心とした林業景観もられる。温泉や地熱を活かしたハウス栽培などが盛んである。</p>										

61 阿蘇の文化的景観 産山村の農村景観										
所在地：熊本県産山村 (アクセス) (JR 熊本駅より車で 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 29 年 10 月 13 日 令和 5 年 3 月 20 日 (追加)		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○	○	○						○
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>産山村は、阿蘇カルデラの外輪山と九重山麓が交わる位置にある。波状高原と、侵食された急傾斜地からなり、谷地や斜面を流れる小河川沿いに豊富な水資源を利用した水田と集落が営まれてきた。</p>										

62 阿蘇の文化的景観 根子岳南麓の草原景観										
所在地：熊本県高森町 (アクセス) (JR 熊本駅より車で 50 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 29 年 10 月 13 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○							
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>阿蘇山中央火口丘の南東に位置する高森町域のうち、急斜面の多い外輪山域では小規模な草地利用である一方、南郷谷の中央火口丘山麓は比較的緩斜面が多く、草地として広く利用されてきた。高冷地野菜の栽培や南郷檜の林業景観も特徴的である。</p>										

63 阿蘇の文化的景観 阿蘇山南西部の草原及び森林景観										
所在地：熊本県南阿蘇村 (アクセス) (JR熊本駅より車で30分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成29年10月13日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
		○	○							○
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>南阿蘇村は、阿蘇カルデラ南側の南郷谷の西に位置する。カルデラ床を流れる白川沿いには水田が、河岸段丘上には農地や集落が、急斜面地は森林が、緩斜面地は草地在、それぞれ特徴的にみられる。</p>										

64 阿蘇の文化的景観 阿蘇外輪山西部の草原景観										
所在地：熊本県西原村 (アクセス) (JR熊本駅より車で10分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成29年10月13日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
			○							
<p>特 徴：</p> <p>阿蘇カルデラの特徴的な土地利用に関する重要文化的景観の一つ。</p> <p>西原町は、阿蘇カルデラの外輪山稜線より外側に位置する。外輪山の草地を利用しながら林業及び農業が一体的に営まれてきた。外輪山外側の典型的な草地景観である一方、熊本市街地に隣接し、都市部との関係の中で景観が展開してきた側面もある。</p>										

65 小鹿田焼の里

所在地：大分県日田市 (アクセス) (JR 大分駅より車で 90 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 20 年 3 月 28 日 平成 22 年 2 月 22 日 (追加)		○		○		○	○			○

特 徴：

棚田の卓越する池ノ鶴地区と、窯業生産地の皿山地区からなる。いずれの地区においても、地域資源を巧みに利用した生業が営まれており、典型的な文化的景観の場所となっている。

一方で、修理や災害復旧をめぐって課題が生じたこともある。選定後の取り組みの重要さが分かる選定地でもある。



20110925 撮影

66 田染荘小崎の農村景観

所在地：大分県豊後高田市 (アクセス) (大分空港より車で 40 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
選定年月日：平成 22 年 8 月 5 日 平成 28 年 10 月 3 日 (追加)		○		○		○			○	○


特 徴：

宇佐神宮の根本荘園の一つ田染荘に由来する景観地。小崎地区は荘官・田染氏の屋敷跡などがあり、田染荘の中心であった。荘園時代に遡る水利システムや慣行が現代に生きている。

追加選定地は里山に当たる場所で、以前は水田も見られたが、現在はクヌギ林やホダ場で、小崎の水源地となっている。



20110926 撮影

67 別府の湯けむり・温泉地景観										
所在地：大分県別府市 (アクセス) (鉄輪：別府駅からバスで約30分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成24年9月19日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○	○			○
<p>特 徴：</p> <p>別府は全国有数の泉種と湧出量を誇る温泉地である。江戸後期までは湯治客を中心とした利用であったが、近代以降、別府港の築港や陸上交通整備により、観光都市へと成長したことで知られる。</p> <p>近世以降の温泉資源を利用した地域変遷を物語る、特徴的な景観地である。</p>										
										
					20210313 田村友希撮影					


68 瀬戸内海姫島の海村景観										
所在地：大分県姫島村 (アクセス) (伊美港よりフェリーで約15分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和3年3月26日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
									○	
<p>特 徴：</p> <p>瀬戸内海に浮かぶ姫島は村(=島)の全域とその周辺海域が重要文化的景観に選定されている。</p> <p>自然環境や社会環境ともかかわりあいながら周辺資源を利用した多様な生業が営まれてきた「海村」であり、限られた資源を持続的に利用するために島全体で管理されてきたことも特徴的である。</p>										


69 緒方川と緒方盆地の農村景観										
所在地：大分県豊後大野市 (アクセス) (JR 緒方駅下車)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和5年3月20日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
特 徴： 緒方川中流域は、阿蘇火山由来の溶結凝灰岩が覆う丘陵地帯に位置する。盆地状の地形の中央を緒方川が蛇行し、侵食による河岸段丘が発達している。古代には低位段丘で、近世には中位段丘で、近代には高位段丘と丘陵部で、水路開削を伴う農地開拓が行われてきた。地域の丘陵地帯の農村の変遷を伝える代表的な景観地である。										

70 酒谷の坂元棚田及び農山村景観										
所在地：宮崎県日南市 (アクセス) (宮崎自動車道田野 IC より約 60 分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成 25 年 10 月 17 日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
特 徴： 酒谷地区の坂元棚田は、昭和 3～8 年の耕地整理事業により、集落の茅場を開墾して造られた。当時の技術や思想を反映し、効率的な牛馬耕を目的に 5 a の面積を持った長方形区画の圃場が整備され、農道も配置されている。また、棚田周辺の山々では、飢肥藩独特の杉植栽育樹法が展開し、近代以降にも引き継がれている。										



20220921 竹内祥一朗撮影

71 北大東島の燐鉱山由来の文化的景観										
所在地：沖縄県北大東村 (アクセス) (北大東空港より車で10分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：平成30年10月15日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
						○	○		○	○
<p>特徴：</p> <p>北大東島は明治期に開拓が始まった。島の北西部はグアノが広く堆積しており、燐鉱石採掘が盛んに行われた。鉱石採掘関連施設の遺構は史跡、住宅群や民宿として継続的に利用されている部分は重要文化的景観として保存活用をはかっている。</p> <p>文化的景観の考え方を総合計画に取り入れるなど、新たな取り組みが行われている。</p>										
						 <p style="text-align: right; font-size: small;">20220226 撮影</p>				

72 今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観										
所在地：沖縄県今帰仁村 (アクセス) (那覇空港より車で100分)	基準	1	2	3	4	5	6	7	8	複合
選定年月日：令和元年10月16日		農耕	採草・放牧	森林	漁ろう	水の利用	採掘・製造	流通・往来	居住	
									○	
<p>特徴：</p> <p>今帰仁城の廃城後、海際に移動した2集落が1つにまとまったのが今泊である。</p> <p>聖地の山、グスク跡、斜面地から平地にかけての農地、海際の集落、イノーに至る土地利用と信仰のつながりが明瞭であることに加え、地域の自然風土に適應すべく、屋敷や集落を囲うフクギの屋敷林、抱護林が発達し、よく遺存している。</p>										
						 <p style="text-align: right; font-size: small;">20211203 撮影</p>				

〈表紙・裏表紙の写真解説〉

- 表 右上 東草野の山村景観（滋賀県米原市）
上 伊庭内湖の農村景観（滋賀県東近江市）
左上 奥内の棚田及び農山村景観（愛媛県松野町）
中央 今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観（沖縄県今帰仁村）
- 裏 中央 宇和海狩浜の段畑と農漁村景観（愛媛県西予市）



京都府立大学文化遺産叢書 第32集

「地域らしさ」を磨く

—文化的景観の価値と地域づくり—

編集 上杉和央
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下賀茂半木町 1-5
発行日 2024年10月26日
印刷 株式会社 北斗プリント社
〒606-8540 京都市左京区下賀茂喬木町 38-2